

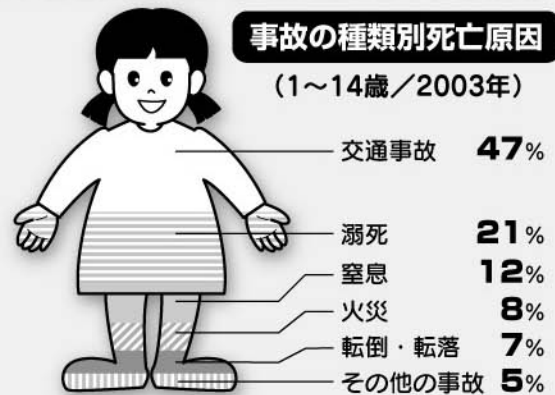
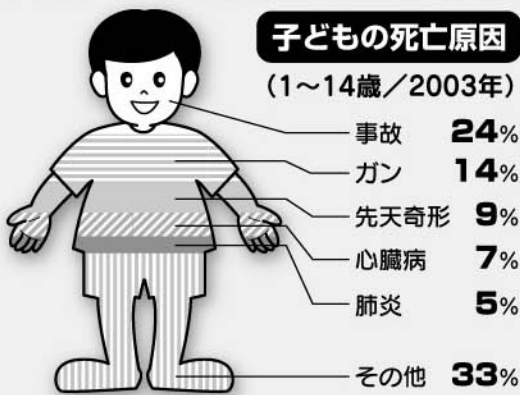


1年間に0歳では4人に1人、1~4歳では3人に1人がお医者さんを受診するような事故にあい、痛い思いをしています。

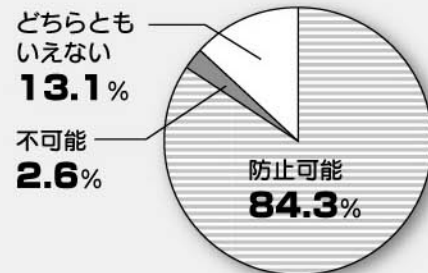


1人の死亡事故があるとその背景には65人の子ども達の入院があり、5850人が病院を受診するような事故にあっています。

事故により命を失ってしまう子どもは、病気のガンよりも多いのです。



事故の経験をしてしまった保護者の80%以上が、「少しの気配りをすることで、事故を防ぐことができた」とアンケートで回答されています。



子どもの事故は、発達と事故の関係を知り、大人が少しの気配りをすることで、未然に防げます。

事故を防ぐための話を聞いたり、リーフレットやパンフレットを読んで、子ども達に安全をプレゼントしてあげましょう。

# 子どもの発達と事故例

	誕生	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月	13か月	1歳半	2歳	3歳	3〜5歳
発達		●体動 ●足をバタバタさせる		●口の中にもを入れる ●見たものに手を出す	●寝返りをうつ	●座る	●はう	●ものをつかむ	●家具につかまり立ちする		●一人歩きする	●スイッチ・ノブ・ダイヤルをいじる	●走る・のぼる	●階段をのぼりおりする	●高い所へのぼれる	
転落	●親が子を落とす	●ベッド・ソファからの転落				●歩行器による転落	●階段からの転落	●バギー・ヤイスからの転落	●浴槽への転落		●階段ののぼりおりの転落		●窓・バルコニーからの転落	●すべり台 ●ブランコ		
切傷・打撲				●床にある鋭いもの ちや	●鋭い角のあるおもちゃ				●鋭い角の家具・建具・カミソリのいたす			●鋭いテーブルの角・ドアのガラス・ドアに手をはさむ・引出の角など		●屋外の石など		
やけど	●熱いミルク・熱い風呂		●ポット・食卓・アイロン				●ストーブ・ヒーター							●マッチ・ライター・湯わかし器・花火		
誤飲・窒息	●まくら・柔らかいふとんによる窒息		●何でも口に入れる	●小物・たばこ・小さなおもちゃの誤飲				●よだれかけ・ひも・コード	●ナッツ・豆類		●薬・化粧品			●ビニール袋		
交通事故	●自動車同乗中の事故			●母親と自転車の二人乗り				●道でのヨチヨチ歩きのとき			●歩行中の事故		●三輪車		●自転車	
溺水事故				●入浴時の事故				●浴槽への転落事故						●プール・川・海の事故		